

初期臨床研修を振り返って

【2018年3月卒初期臨床研修医K】

「あっ」という間の研修医生活でした。

ただ、目を閉じて思い返せば様々な科の先生にかわいがって頂いたと思います。

私がこの病院を選択した理由は3点ありました。

できるだけ common disease を診ることができること、あとでフィードバックをしてもらう環境があること、プライベートの時間（勉強する時間など）がとれること、以上のことを満たすと思ったからです。

今となってはこの病院で研修をすることができて良かったと思います。なぜなら上記条件を満たしていたこともあります。それ以外にも学生のときには気づくことができなかった利点があったからです。

まず、研修生活に強弱をつけられることです。強弱とは業務量をコントロールできるという意味です。例えば、自分が考えている科を回っている時は自分がついている先生の患者さん以外にも勉強になる症例を受け持たせてもらうことでよりその科について深く知ることができます。もちろん科によって業務の多さは違いますし最低限の業務はこなすことを前提としているので必ずできるわけではありません。ただ、どうしても興味のある科であるほど力が入ることも事実で自分の場合は先生方のはからいで強弱をつけることができ大変感謝しております。

次に、手技をたくさんさせてもらえます。手技をさせてくれることを標榜する市中病院はたくさんあると思いますが2年間の研修を終えるにあたって周囲の大学同期と比較しても少なくとも同程度以上はさせてもらえたと思います。さらに、手技をする際には必ず先生方がついてくれます。そのため成長に合わせてできる範囲が拡大し、最終的には自分ひとりでできるようになった手技は多いと今は思っています。

また、当該病院は横浜市立大学と地域医療振興協会という2つの組織と提携しています。

そのため当該病院で経験することが困難で自分が経験したいこと、例えば3次救急などを経験することができます。基本である2次救急をできるようになってから3次救急を経験することで相乗効果が得られたように感じます。また、研修で必修となっている地域医療に関しても提携先の病院や診療所が多いため自分は沖縄県の与那国町診療所に行かせていただき非常に貴重な体験をする事ができました。

以上、自分が経験した2年間で感じた感想です。自分は研修医同期や後輩、そして先生方に恵まれ本当に楽しかったです。学生の皆様はどこの病院にするか悩むと思います。ただ、どこに行こうとも自分次第で研修内容は充実したものになるかと思いますが当該病院ではさらに柔軟性があり、より充実した研修になると思います。是非、見学に来てください。

【2018年3月卒初期臨床研修医F】

・長所

比較的中規模の病院であることから診療科間の垣根が低く、他科への相談がしやすい空気になっています。医師控室内でちょっとした議論が行われるシーンも多々ありました。私は内科系やマイナー系の診療科を多く選択させていただきましたが、各科とも部長クラスの先生をはじめどの方も人柄がよく丁寧にご指導くださる方が多かったため、人間関係などで悩むことも少なかったと思います。コメディカルの方々も、臨床の場での経験が殆ど無い研修医に対しても、非常に優しく接してくださいました。

研修医の人数が1、2年目合わせても10人弱程度ということもあり、手技などがまわってくる場面も多くありました。研修医が少数であるため義務として回ってくる雑用が比較的少なく、大病院などの研修できくような、採血やルート確保、書類仕事が忙しく、医学の勉強に時間を割けないというようなことは少ないと思います。

・短所

外科系診療科が大病院のそれと比べると少なくなっています。ただ、協力施設で研修することは可能だと思います。

最寄り駅まで距離があり、病院周辺にはスーパーやコンビニはありますが娯楽施設や飲食施設はほとんどないので、その辺りは不便かもしれません。しかし車があれば横浜まで40分程度、公共交通機関でも1時間強程度で出られます。

病院スタッフは横浜市立大学の医局所属の方が多く、診療スタイルも同大学でのやり方がもとになっているようです。将来そちらへの入局を検討されている方は参考になると思います。

また、私は元々内科系やマイナー系志望で、あまりハード過ぎる研修、研修医だけで数十人居るようなところは性に合わないと考えていたため、自分にはこちらでの研修が合っていたように思います。恐らくどこで研修しても大なり小なり想像と異なる部分はあると思うので、手技、指導医、立地、病院名、時間、給与など自分が何に重きをおくのかをよく検討していただければと思います。少しでも興味がありましたら是非見学していただくことをおすすめします。散文的ではありましたが、参考になれば幸いです。

【2018年3月卒初期臨床研修医K】

私は初期研修の2年間、common diseasesを広く経験したいと考え、市中病院である当院を選択しました。

2年を通じて様々な症例に出会うと同時に、上司の先生方も丁寧な指導をしてくださり、満足のいく研修生活を過ごすことができました。

当院の初期研修に少しでも興味があれば、是非一度見学にお越しください。病院職員一同お待ちしております。

【2018年3月研修修了たすきがけ初期臨床研修医O】

私は、横浜市大からのたすきがけ先として1年次のみ横須賀市立市民病院で研修させていただきました。

1年次のローテートする診療科はあらかじめ決まっていますが、各診療科での研修内容は研修医それぞれの希望に合わせて決めることが出来ました。そのおかげで、自分の目標に合わせてのびのびと研修生活を送ることができました。

また、研修医が1学年6人と少人数なため、同時期に1つの診療科に複数の研修医が回ることはまずありません。そのため担当患者に関わらず、手技やその他の診療に参加することができました。また、スタッフやコメディカルの方々はみな親切であたたかく、地元を離れて新しい地での研修は不安でしたが、人間関係で悩むことなく研修を終えることができました。同期や先輩研修医にも恵まれ、すぐに悩みを相談できる環境でした。

横須賀市立市民病院は、自由度の高い充実した研修を送ることができる病院だと思います。少しでも興味がありましたら、是非一度見学にいらしてください！

【2018年3月研修修了たすきがけ初期臨床研修医B】

横須賀市立市民病院での研修は1年間でしたがとても充実した1年間でした。

当院は1つの科に1人の研修医が配属される体制が基本であるため、手技を経験できる機会がとても多く、指導医がマンツーマンで教えて下さり分からないことも気軽に聞くことができ非常に恵まれた教育環境の中、研修を行えます。

上級医の先生方もとても気さくで教育熱心で、手技や勉強になる症例がある時には研修医を呼んでくださり、気になることも気軽に質問させて下さり、やりたいことがあれば躊躇せず言えることができました。コメディカルの方々と距離も近く気になることや思っていることなども仕事の合間に話しあうことができました。また、科の垣根がなく他科コンサルトをしやすい点も研修する際にはとても大切なことだと思います。

当直ではファーストタッチをさせて下さりその後フィードバックして下さること、common diseaseを勉強できる機会が多いことも市中病院で研修する良い点の一つだと思います。

また、手技をたくさんしたければ手技をする機会を多く与えて下さり、勉強に時間を割きたければ勉強する時間を与えて下さり、どちらもしたい場合には両方をバランスよくさせて下さり、その人の希望する研修のスタイルに合わせて下さるのも当院で研修を行う魅力の一つだと思います。

ぜひ一度病院見学をしてみてください。お待ちしております。